

## (2) 事業・取組の実績

平成 27 年度の事業・取組の具体的な内容や効果を、写真、図表等を用いて説明します。

### ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

#### 1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

- 市内に残るまとまりのある緑地を保全して次世代に引き継ぐため、緑地保全制度による地区指定を積極的に進めます。
- 特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。
- 市民の森において、市民が親しめるような散策路などの整備を行います。  
また、市が取得した樹林地での柵の設置などの初期整備を行います。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	緑地保全制度による新規指定	102.5ha	100 ha	500ha
	不測の事態による買取希望等への対応	22.9ha	19.7ha	108ha

#### ■ 緑地保全制度による新規指定【詳細】

制度	新規指定等		
	面積	区名	地区詳細
特別緑地保全地区	62.5ha	鶴見	馬場五丁目地区 (0.4ha)、東寺尾六丁目南地区 (0.3ha)
		神奈川	三枚町牛道根地区 (0.2ha<指定拡大>)、三枚町矢崎地区 (0.2ha)、菅田町出戸谷地区 (0.2ha<指定拡大>)、菅田町堀上地区 (0.3ha<指定拡大>)、菅田町南出戸地区 (3.0ha)、羽沢町綿打地区 (0.4ha)
		港南	野庭町地区 (3.7ha)
		保土ヶ谷	今井町美立橋地区 (5.0ha)、上菅田町金草沢東地区 (1.0ha)、境木本町地区 (0.8ha)、仏向町地区 (1.9ha)
		旭	市沢町地区 (1.8ha<指定拡大>)、上川井町露木谷地区 (10.3ha)、上白根町小池地区 (0.3ha<指定拡大>)、川井本町地区 (1.6ha)、都岡町地区 (1.6ha)
		金沢	関ヶ谷地区 (2.8ha)、大道二丁目地区 (2.3ha)、富岡東五丁目地区 (0.9ha)
		港北	大曽根台地区 (0.7ha<指定拡大>)
		緑	北八朔町中地区 (1.0ha)、北八朔町南地区 (1.3ha)、十日市場町笹山地区 (0.7ha)、長津田町深田地区 (1.5ha)、三保地区 (5.9ha<指定拡大>※緑区、旭区)、三保町杉沢地区 (0.2ha)

### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

制度	新規指定等		
	面積	区名	地区詳細
特別緑地保全地区		青葉	恩田東部地区(1.2ha<指定拡大>)、鉄町稲荷谷戸地区(1.1ha)、奈良町宮ノ谷地区(3.2ha)、元石川町平崎地区(1.0ha)、元石川町平崎北地区(1.2ha)
		栄	上郷町瀬上地区(1.5ha)
		泉	岡津町金堀谷地区(0.5ha)、新橋町地区(2.2ha)、
		瀬谷	本郷三丁目地区(0.3ha)
市民の森	4.6ha	旭	南本宿地区(0.01ha<指定拡大>)
		磯子	氷取沢地区(0.8ha<指定拡大>)、峯地区(0.2ha<指定拡大>)
		金沢	釜利谷地区(1.6ha<指定拡大>)、富岡東三丁目地区(0.2ha<指定拡大>)
		都筑	池辺地区(0.4ha<指定拡大>)
		戸塚	名瀬・上矢部地区(1.1ha<指定拡大>)
		栄	上郷地区(0.1ha<指定拡大>)、瀬上地区(0.2ha<指定拡大>)
緑地保存地区	9.4ha		30 地区 9.4ha
源流の森保存地区	23.9ha		44 地区 23.9ha
寄附緑地等	2.1ha		【寄附緑地】1.6ha、【地区計画緑地保全】0.5ha
【合計】	102.5a		

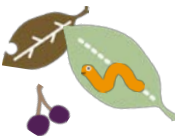


【写真】北八朔町中特別緑地保全地区(緑区)



【写真】市沢町特別緑地保全地区(旭区)

#### ■ 買入れ申し出への対応【詳細】

制度	区名	地区名
特別緑地保全地区、 近郊緑地特別保全地区 	鶴見	東寺尾六丁目地区、獅子ヶ谷・師岡地区
	保土ヶ谷	今井町多子谷地区、今井町美立橋地区
	旭	上川井町大貫谷地区、上川井町堀谷地区、上白根町小池地区、川島町二ノ沢地区、善部町地区、南本宿地区
	磯子	円海山地区
	金沢	朝比奈地区、大丸山地区

特別緑地保全地区、 近郊緑地特別保全地区	港北	小机城址地区、綱島地区
	緑	北八朔町中地区、三保町杉沢地区、 三保町東谷地区
	青葉	恩田東部地区、恩田町番匠谷地区、 鉄町富士塚台地区、寺家地区、 元石川町平崎地区
	都筑	池辺町滝ヶ谷戸地区
	戸塚	下倉田町地区
	栄	上郷・中野地区、円海山地区、公田・荒井 沢地区
	泉	和泉町早稲田地区、鍋屋地区
	瀬谷	本郷三丁目地区
市民の森等	鶴見	東寺尾地区
	旭	南本宿地区
	金沢	富岡東三丁目地区
	港北	綱島地区
	戸塚	深谷地区、舞岡地区
	瀬谷	瀬谷地区、東山地区
【合計】	38地区 22.9ha	



【写真】朝比奈特別緑地保全地区  
(金沢区)



【写真】鉄町富士塚台特別緑地保全地区  
(青葉区)

### ■ 新しい市民の森がオープンしました

平成27年9月1日、35番目の市民の森として、相鉄いずみ野線南万騎が原駅徒歩3分のところに、柏町市民の森が開園しました。

約1.9haの緩やかな斜面の樹林地は、主にコナラ、クヌギ、エゴノキ等の落葉広葉樹林とスギ・ヒノキ等の針葉樹林で構成されています。園内は、林の雰囲気を楽しんでいただく散策エリアと多様なシダ類など動植物の保全を図る自然保護エリアに分かれています。散策エリアには、憩いの場となるよう、現在の地形を生かし散策路と休憩スペースを設けました。



【写真】  
オープンした市民の森  
(旭区/柏町市民の森)







### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

## 2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

- 森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全や利用者などの安全確保のため、愛護会などと連携して森づくりを推進します。
- 愛護会などと連携し、森ごとの具体的な管理の計画を定める「保全管理計画」を策定し、森づくりを推進します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	森づくりガイドライン等を活用した維持管理の推進			
	【市民の森等】 【まとまった樹林地のある都市公園】	121か所 14か所	推進	推進
	保全管理計画の策定の取組み			
	【市民の森等】 【まとまった樹林地のある都市公園】	3か所 3か所	3か所 3か所	15か所 10か所

### ■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

市民の森、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林地を対象に、維持管理の技術指針である「森づくりガイドライン」や森ごとに定めた「保全管理計画」に基づき、間伐や下草刈り等の維持管理を実施しました。



【写真】維持管理を実施した樹林地  
(左：旭区/桧山公園 右：緑区/三保市民の森)

### ■ 保全管理計画の策定

森ごとに具体的な管理の計画を定めた「保全管理計画」を、愛護会などと連携して策定しました。

策定場所		区名
市民の森等	綱島市民の森	港北
	境木ふれあいの樹林	保土ヶ谷
	飯島市民の森	栄
まとまった樹林地のある都市公園	茅ヶ崎公園	都筑
	こども自然公園	旭
	港南台中央公園	港南




【写真】  
保全管理計画の策定検討会の様子  
(保土ヶ谷区/境木ふれあいの樹林)



### 3 指定された樹林地における維持管理の支援

- 緑地保全制度により指定した民有樹林地の外周部などの危険・支障樹木の管理作業を支援します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	樹林地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成	103 件	130 件	650 件

#### ■ 指定された樹林地における維持管理の支援

緑地保全制度により指定した民有樹林地の外周部において、隣接する住宅や道路等に対して危険な樹木や電線等の支障になっている樹木のせん定・伐採、火災や不法投棄等の恐れがある草地の草刈等の維持管理費用を助成しました。

##### <区別実績>

区名	件数	区名	件数
鶴見	4	金沢	12
神奈川	7	港北	10
西	0	緑	9
中	0	青葉	5
南	1	都筑	5
港南	4	戸塚	17
保土ヶ谷	6	栄	6
旭	6	泉	5
磯子	4	瀬谷	2
		合計	103



【写真】  
作業前（上）と  
作業後（下）  
（港北区）



#### 助成利用者の声


- ・永年の課題であった、危険を感じていた場所を整備できたので、安心しました。
- ・外周部の枝下ろしにより明るく綺麗になって、近隣住民からも喜ばれました。

### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 — ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

## 4 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

- 防災や安全面の対策が必要な緑地の法面を対象に、生物多様性にも配慮した法面整備を推進します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	市民の森等の斜面地での生物多様性に 配慮した法面整備	整備3か所 施工中 2か所	2か所	10か所

### ■ 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

危険な斜面地のある上山・白山特別緑地保全地区（緑区）、獅子ヶ谷市民の森（鶴見区）、岡村一丁目緑地（磯子区）において、生物多様性にも配慮した防災や安全性の対策工事を実施しました。また、舞岡ふるさとの森（戸塚区）、舞岡特別緑地保全地区（戸塚区）でも対策工事を実施しています。




【写真】法面の整備

（緑区/上山・白山特別緑地保全地区）

## 5 間伐材の有効利用

- チッパーの貸出しなどにより、間伐材の有効活用を推進します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	森づくり活動団体へのチッパーの貸出し	11 回	推進	推進

### ■ 間伐材チップ化作業支援

市民の森等で活動する森づくり活動団体の維持管理活動により生じた間伐材をチップ化して園路に敷くなど有効活用を図るため、チップ化作業の支援を行いました。

実施か所	区	回数
新治市民の森	緑	3
鴨居原市民の森	緑	2
もえぎ野ふれあいの樹林	青葉	2
川井特別緑地保全地区	旭	2
茅ヶ崎公園	都筑	2
【計】		11



間伐材チップ化作業支援を利用した  
森づくり活動団体の声

- ・暗かった樹林が間伐したことで明るくなり、さらに材をチップ化したことで、より森がきれいになりました。



【写真上】チップ化作業支援の様子/  
【写真下】集積したチップ  
(都筑区 茅ヶ崎公園)



### ■ 間伐材利活用方法の検討

市内で発生する間伐材を広く多くの方に知ってもらうため、間伐材を使用した製品(マグネット等)を広報ツールとして作成しました。



## 6 森づくりを担う人材の育成

- 森づくり活動に取り組む団体のスキルアップにつながる研修を実施します。
- 森づくりボランティア登録者を対象とした研修を開催するとともに、ボランティアが森づくり活動団体へ加入するための橋渡しを行います。  
また、森づくりに関する情報発信を行います。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	森づくり活動団体向けの研修の実施	14 回	推進	推進
	森づくりボランティアへの情報発信、広報・PR の充実	推進	推進	推進

## ■ 森づくりを担う人材を育成するための研修

研修名	回数	対象者	
		団体	登録者
「森づくりリーダー養成講座」	1 回	○	
「これも覚えよう！30 種」（スキルアップ講座）	6 回	○	○
「作業実習」（スキルアップ講座）	1 回	○	
「救急救命講習会」（スキルアップ講座）	1 回	○	
「森づくり活動団体基本研修」（必須研修）	2 回	○	
「森づくりボランティア入門講座」	3 回		○
【計】	14 回		



## 研修参加者の声

- ・大変有意義な虫の研修であった。これからの森づくりに生かしていきたい。（これも覚えよう！30 種）
- ・森での作業を丁寧に基本から勉強できて良かった。座学だけでなく実体験も重要。（森づくりボランティア入門講座）
- ・今までの作業動作を見直すきっかけになった。（基本研修）

## ■ 森づくりボランティアの橋渡し

団体の活動に森づくりボランティア登録者が体験的に参加し、一緒に学ぶ研修会を実施し、交流を深める機会を作りました。

## ■ 森づくりに関する情報発信

森づくりボランティアや森づくり活動団体に向けた森づくりに関する情報発信として、『よこはまの森ニュースレター』を年間で4回発行しました。



【写真】


「これも覚えよう！夏の虫」の様子  
（緑区/新治市民の森）

<支援対象> (平成 27 年度末時点)

森づくり活動団体	71 団体
森づくりボランティア	109 人

## 7 森づくり活動団体への支援

- 市民の森や都市公園内の樹林で活動する団体を対象に、森づくりに必要な道具の貸出しを行います。また、活動に対する助成や、専門家派遣による支援を行います。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	森づくり活動団体への支援			
	【市民の森等】	延べ 23 団体	延べ 10 団体	延べ 50 団体
	【まとまった樹林地のある公園】	延べ 9 団体	延べ 10 団体	延べ 50 団体

### ■ 活動に対する助成

森づくり活動の内容や成果、団体の活動記録をまとめ、広く地域の方に配布するための広報誌作成に対して助成を行いました。

### ■ 道具の貸出し

カマやノコギリといった樹林地を管理するための道具や、救急セットなど安全対策用の道具、腕章や帽子など活動を PR するための道具の貸出しを行いました。

### ■ 専門家の派遣

団体が抱える課題の解決に向け、専門家（アドバイザー）派遣による支援を行いました。

	団体	派遣内容
市民の森等	飯島市民の森愛護会	クヌギ林の枝打ちとそだ柵作り
	今宿市民の森愛護会	樹林地管理作業による環境変化の確認
	東寺尾ふれあいの樹林愛護会	森の現状確認と森の魅力を引き出すための課題整理
	鍛冶ヶ谷市民の森愛護会	竹林の間伐材を活用した竹柵作り
	ガールスカウト横浜地区スカウトの森	団体と森づくりボランティアの橋渡し（ロープを使用した伐採や落ち葉かき等を共同で実施）
公園	本郷ふじやま公園運営委員会 公園愛護会	梅林の樹木剪定の手法



### 専門家派遣を受けた森づくり活動団体の声

- ・日頃自分たちで手入れをしている森に対する見方が深まった。
- ・習得した技術を日頃の活動で活用したい。

【写真】アドバイザー派遣による支援の様子  
(栄区/鍛冶ヶ谷市民の森)




### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

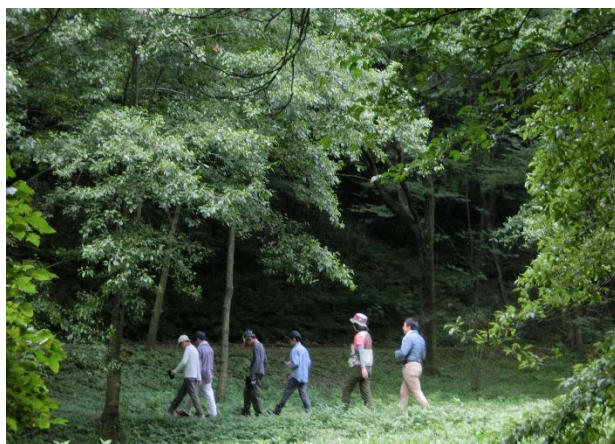
## 8 森の楽しみづくり

- 森に関わる市民の裾野を広げるため、森に関わるきっかけとなる親子で参加できるイベントや広報活動を展開します。
- 森を楽しむためのプログラムを自ら企画・運営できる人材を育成するための講座等を開催します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	森に関わるイベント等の実施	132 回 (15,097 人)	36 回	180 回
	樹林地を利用したウォーキングイベントの開催	9 回 (289 人)		
	間伐材を活用したクラフト教室の開催	91 回 (8,465 人)		
	親子で参加できる森に親しむイベントの開催	23 回 (6,279 人)		
	図書館と連携したイベントの開催	5 回 ( 64 人)		
	森に関わるきっかけづくりパネル展示の実施	4 回 ( ー 人)		
	インタープリター養成講座フォローアップ研修の開催	全 6 回 (11 人)		

### ■ 図書館と連携したイベントの開催

子どもたちが木とふれあい、遊びを通して自然や生き物に対する理解を深め、森林環境を考えることができるイベントを市内 5 館の図書館と連携して開催しました。



【写真】「森の中のプレイパーク」の様子  
(都筑区/都筑中央公園)

#### イベント開催区

神奈川区

中区

保土ケ谷区

都筑区

瀬谷区



### 間伐材を活用したクラフト教室の開催

間伐材に触れ、楽しみながら森づくりについて学ぶクラフト教室を市内各所で開催しました。



#### 参加者の声

- かわいく作れて嬉しかった。
- 親子で一緒に作れて思い出になりました。
- 楽しかった。

【写真】

・森の恵みクラフト教室（南区/南区民まつり）

### ■ 親子で参加できる森に親しむイベントの開催

市内大学と連携した「よこはま森の楽校」や夜の森を探検する「生き物ウォッチング」など多くの市民を対象とした様々なイベントを開催しました。



#### 参加者の声

- 身近な自然に触れることができた。
- 大学の機器類を使って自由研究をできたことは良い経験になった。
- 身近な街のなかにすむチョウがこれだけいろいろいることに驚いた。

【写真】「よこはま森の楽校～英和の森の自然遊び～」の様子（緑区/東洋英和女学院大学）

### ■ 樹林地を利用したウォーキングイベントの開催



#### 参加者の声

- 冬の森林ウォークも良いですね。
- 木や花の名前を知り、これからも自然観察をしたいと思いました。
- 季節を変えて同じコースを歩きたいです。

【写真】「みどりアップ健康ウォーキング」の様子（旭区/市沢ふれあいの樹林）

### ■ インタープリター養成講座フォローアップ研修

自然と人との「仲介」し、その魅力を伝えるインタープリターの養成を目的とし、身近なフィールドで森を楽しむプログラムを自ら企画、運営できるよう、より実践的な研修を実施しました。

【写真】研修の一環としてブース出店している様子（保土ケ谷区/環境活動支援センター）





### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 — ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

## 9 森に関する情報発信

- 市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップを作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進します。
- ウェルカムセンター5館を運営し、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	＜参考＞ 5か年目標
	ガイドマップ作成	2地域	推進	新規に指定された 市民の森等を対象 に作成
	ウェルカムセンターの運営	推進	推進	推進

### ■ ガイドマップの作成

ウォーキング等の散策にも活用できるよう、近接する市民の森、ふれあいの樹林を 1 枚にまとめたガイドマップを作成しました。

パンフレット作成地域	区
川和市民の森	都筑
泉の森ふれあい樹林・中田宮の台市民の森・新橋市民の森	泉



【写真】泉の森ふれあい樹林・中田宮の台市民の森・新橋市民の森（泉区）

### ■ ウェルカムセンターの運営

市内5館にあるウェルカムセンターでは、各館の特徴を生かしながら「森の情報提供」、森を知り、楽しむための講座等を開催する「普及啓発・環境教育」を行いました。



【写真】森の情報提供  
（米区/横浜自然観察の森自然観察センター）



【写真】平日探鳥会  
（戸塚区/舞岡ふるさと村虹の家）



## イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

### 10 水田の保全

- 横浜に残る貴重な水田景観を保全する取組を推進します。
- 水田景観を保全するために必要な水源を確保するため、まとまりのある水田がある地区を対象に、井戸の設置を支援します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	水田保全承認面積 (うち平成 27 年度新規承認面積)	120.1ha (2.5ha)	121ha	125ha (平成30年度末)
	水源の確保	1 か所	2 か所	10 か所

#### ■ 平成 27 年度水田保全承認面積の区別内訳

区名	面積 (うち新規)	区名	面積 (うち新規)	区名	面積 (うち新規)
神奈川	0.1ha	港北	1.1ha	戸塚	9.5ha (0.2ha)
港南	0.7ha (0.1ha)	緑	35.1ha (0.4ha)	栄	2.6ha
保土ケ谷	0.2ha	青葉	37.9ha (1.6ha)	泉	21.3ha (0.2ha)
旭	0.9ha	都筑	7.0ha	瀬谷	3.7ha (0.1ha)
※四捨五入の関係により面積の合計は 120.1ha (2.5ha) と一致しません。				計	120.1ha (2.5ha)



【写真】夏の水田(戸塚区)



【写真】秋の水田(緑区)

#### ■ 水田保全の維持に必要な井戸のポンプの更新を支援しました

水稻作付の継続に必要な水を確保するための井戸のポンプ更新を支援しました。

- ・井戸ポンプ更新：1 か所 (青葉区)



【写真】井戸ポンプ更新を支援した水田(青葉区)



【写真】井戸施設(青葉区)



## 11 特定農業用施設保全契約の締結

- 市と契約を結び、市長に指定された「農業用施設用地」の固定資産税・都市計画税を10年間軽減します。

◆平成27年度の実績			平成27年度 目標	<参考> 5か年目標
	特定農業用施設保全契約の締結件数	14件 (2,065 m <sup>2</sup> )	制度運用	制度運用

## ■ 農業用施設の指定基準

- (1) 全て農業用に使用されている施設。
- (2) 施設の一部が農業以外の用途に使用されている場合は、以下の要件を満たす施設。
- ・農業専用部分と非農業専用部分が壁などで明確に分かれていること
  - ・農業専用部分の床面積の合計が延床面積の2分の1以上であること
  - ・二階建て以上の場合、1階はすべて農業専用であること



【写真】指定された農業用施設（瀬谷区）



【写真】指定された農業用施設（栄区）

## ■ 平成27年度区別指定一覧

	区名	件数	指定面積
1	神奈川	1件	67 m <sup>2</sup>
2	保土ヶ谷	1件	84 m <sup>2</sup>
3	旭	1件	142 m <sup>2</sup>
4	緑	1件	141 m <sup>2</sup>
5	青葉	1件	341 m <sup>2</sup>

	区名	件数	指定面積
6	都筑	1件	23 m <sup>2</sup>
7	戸塚	6件	927 m <sup>2</sup>
8	栄	1件	59 m <sup>2</sup>
9	瀬谷	1件	282 m <sup>2</sup>
	合 計	14件	2,065 m <sup>2</sup>

※四捨五入のため、内訳と合計は一致しません。

## 12 農景観を良好に維持する取組の支援

- 生物多様性の保全に配慮し、周辺環境と調和した良好な農景観を保全・形成するため、地域の農家が組織する団体の維持・管理の取組を支援します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	良好に維持されている農地の面積 (支援した団体)	718ha (55 団体)	710ha	680ha (平成30年度末)
	田園景観保全水路整備	2 地区	1 地区	5 地区
	共同利用設備の整備	1 件	5 件	25 件

### ■ 農地とその周辺の農景観保全のための活動を支援しました

まとまりのある農地の維持管理活動を行っている、各地区の農家団体を支援するとともに、農地周辺部の道路・水路の清掃・草刈りや、景観植物の植栽・管理といった取組に対して支援を行いました。

①	農地維持管理団体への支援	55 団体
②	道路・草刈りを行う団体への支援 ※	46 団体
③	景観植物の植栽・管理を行う団体への支援 ※	5 団体

※②・③は、①の団体のうち、当該の取組を行っている団体に対する支援です。



【写真】地域団体により保全されている農景観（青葉区）

### ■ 水路機能の維持のための水路改修および生物等環境に配慮した水路整備を支援しました

老朽化し、機能が低下している水路の改修と併せて、生物等環境に配慮した水路整備について支援を行いました。



【写真】水路整備により保全をはかった水田（左：戸塚区、右：泉区）

### ■ 共同利用設備の整備

農業活動により生じるせん定枝や作物残さ等を堆肥化してリサイクルに取り組む団体に、必要な機械や設備の導入を支援しました。


- ・仏向コンポスト組合（保土ケ谷区）



【写真】堆肥舎（左）とせん定枝チッパー（右）（保土ケ谷区）

## 13 多様な主体による農地の利用促進

- 意欲ある農家や新規参入を希望する企業等が農地を安定的に利用できるよう、農地を長期間貸し付ける場合、農地所有者に対し支援します。
- 遊休化した農地を市が一時的に借り受けて復元し、農地の利用を希望する担い手に貸し付けます。

◆平成 27 年度の実績		平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	長期貸付開始農地 (累計貸付農地)	10.6ha (77.0ha)	2.0ha (68.5ha)
			80ha (平成30年度末)

## ■ 長期間の農地貸付の支援を行いました

農地の遊休化を防ぐためには、安定的な農業経営が必要です。農地を長期間借りられるようになると今後の農業経営の見通しが立てやすくなり、農業経営の安定化に役立つため、市は 6 年以上の長期貸付を支援しています。

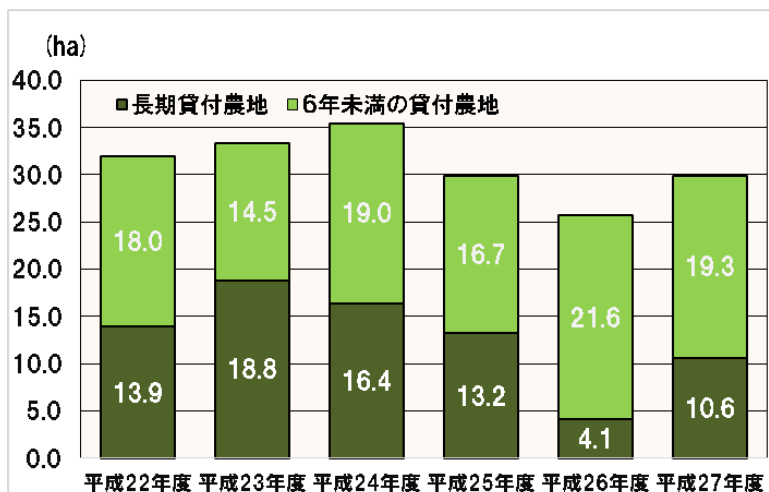
農家が長期間安定して耕作を行うことで、良好な農景観が維持されます。



【写真】長期貸付した農地（緑区）



【写真】長期貸付した農地（磯子区）



【図】長期貸付面積の推移




## 利用者の声

- ・農地を長期で借りることができ、長期的な作付計画を立てることができるようになりました。



## 14 様々なニーズに合わせた農園の開設

- 収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設支援や整備を進めます。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	4.6ha	5.1ha	25.8ha
	収穫体験農園の開設支援	1.0ha	2.5ha	12.5ha
	市民農園の開設支援	2.2ha	1.2ha	6.0ha
	農園付公園の整備	1.4ha (2か所)	1.4ha (2か所)	7.3ha

### ■ 収穫体験農園の開設支援

ナシ、ブドウなどの果樹園の整備支援を行い、農家が栽培した旬の果物を収穫体験できる農園が増えました。

農園開設整備の支援		
神奈川区	1 か所	0.08ha
旭区	2 か所	0.17ha
港北区	1 か所	0.09ha
緑区	1 か所	0.10ha
都筑区	2 か所	0.06ha
戸塚区	1 か所	0.23ha
泉区	3 か所	0.29ha

農園の内訳	
ブドウ	4 か所
ナシ	4 か所
キウイ	1 か所
ブルーベリー	2 か所
ミカン	2 か所

果樹苗木育成の支援	
4 件	0.98ha

※重複か所があるため、内訳と合計は一致しません。

※四捨五入の関係により、面積の合計は 1.0ha と一致しません。

※市内の収穫体験農園：30園  
(平成 28 年 3 月末時点)



#### 農園開設者の声

- ・おいしいね！とお客様に喜んでいただける  
よういいものを作るため、樹の手入れなどの  
栽培管理を頑張っています。



【写真】開設を支援した収穫体験農園  
(ミカン／泉区上飯田町)

### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 — イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

##### ■ 市民農園の開設支援

土地所有者が農園を開設するための支援を行いました。

- ・特区農園…区画貸しタイプの市民農園
- ・環境学習農園…児童・生徒などを対象に農家が指導を行う農園

区	特区農園	環境学習農園	計
旭	0.34ha	—	0.34ha
磯子	0.06ha	—	0.06ha
港北	0.22ha	—	0.22ha
緑	0.11ha	—	0.11ha
青葉	0.41ha	—	0.41ha
都筑	0.07ha	—	0.07ha
戸塚	0.49ha	0.05ha	0.54ha
泉	0.46ha	—	0.46ha
計	2.17ha	0.05ha	2.22ha

※四捨五入のため、内訳と合計は一致しません



【写真】特区農園（青葉区）



【写真】環境学習農園（戸塚区）

※市内の市民農園

37.7ha/ 294 か所(平成 28 年 3 月末時点)

[参考：その他の市民利用型農園 3.7ha/7 か所]



##### 農園利用者の声

- ・生徒に直接作物の栽培教育をすることができて大変役立ちました。  
(環境学習農園を利用している小学校)
- ・身近な場所で作物の栽培を体験できてよかった。(特区農園利用者)

##### ■ 農園付公園の整備

2 か所(1.4ha)の農園付公園の整備を完了し、平成 28 年 4 月に開園しました。

区	公園名	面積
都筑	大榎杉の森ふれあい公園	1.0ha
戸塚	ハマヤク農園	0.4ha

※市内の農園付公園

3.2ha/6 か所 (平成 28 年 3 月末時点)



【写真】大榎杉の森ふれあい公園  
(都筑区)



【写真】ハマヤク農園  
(戸塚区)






##### 農園付公園の利用者の声

- ・夏は暑くてとても大変でしたが、夏野菜はおいしくて感激しました。
- ・大変楽しい菜園生活をさせていただき、心身共に健康になりました。
- ・皆様に教えてもらったり、手伝ってもらいながら収穫を楽しんでいます。
- ・お陰様で楽しく、夫婦共々菜園通いをしています。食卓を新鮮な野菜がいろいろ豊かにしてくれています。感謝します。

## 15 市民が農を楽しむ支援する取組の推進

- 市民と農家を結ぶ交流拠点である横浜ふるさと村や恵みの里を中心に、市民が農と触れ合う機会を提供します。
- 農家と地域住民の協働により、連携して地域の農環境の保全を図る取組を支援します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	農体験教室などの実施 (横浜ふるさと村・恵みの里)	89 回	100 回	500 回
	農ある横浜・めぐりツアーの実施	3 回	4 回	20 回
	農のある地域づくり協定の新規締結	2 件	2 件	4 件
	農体験学習講座の開催	5 回	5 回	25 回

### ■ 農体験教室などの実施に対して支援しました

横浜ふるさと村や恵みの里において、農家団体が実施した農体験教室等に対して支援しました。

#### <横浜ふるさと村、恵みの里の開催実績>

場所	回数	詳細
舞岡ふるさと村	16 回	トウモロコシ・ジャガイモ収穫体験、農業イベント開催等
田奈恵みの里	20 回	米作り教室、農産加工教室、サツマイモ堀り等
新治恵みの里	26 回	米・大麦・小麦作り教室、農業イベント開催等
都岡地区恵みの里	19 回	もち米、小麦・サツマイモ作り教室等
柴シーサイド恵みの里	8 回	ミカン狩り、ジャガイモ収穫体験等
合計	89 回	



【写真】みかん狩り  
(恵みの里の収穫体験  
/金沢区柴町)



【写真】トウモロコシもぎ取り  
(ふるさと村の収穫体験  
/戸塚区舞岡町)



【写真】サツマイモ料理教室  
(恵みの里の農体験教室  
/緑区新治町)



### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 — イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

#### ■ 農ある横浜あぐりツアーを開催しました

市民に農業専用地区などの市内の農畜産物の生産現場や直売所の見学を行うことで、市内の農業を身近に感じるだけでなく、農業に対する理解も深めていただきました。

##### <あぐりツアー開催実績>

場所	時期	詳細
青葉区	平成 27 年 9 月	寺家ふるさと村の見学、浜なしの話・収穫体験
保土ケ谷区	平成 27 年 11 月	苅部大根の話と収穫体験、直売所見学
都筑区	平成 28 年 3 月	野菜の栽培施設の見学、イチゴの収穫体験



##### 参加者の声

- ・自然豊かな場所で話を聞きながら散策できて楽しかった。



【写真】農地の見学と農家の話（保土ケ谷区）



【写真】浜なしの収穫体験（青葉区）

#### ■ 市民と農家の協働による「農のある地域づくり協定」を締結しました

農家と地域住民が協働で地域農業を維持・保全する活動に対して支援を行いました。

##### <27 年度新規協定一覧協定一覧>

区・町名	支援内容
神奈川区三枚町	援農、農産加工活動ほか
戸塚区舞岡町	援農、地域交流活動ほか



##### 活動に参加した住民の声

- ・農家の作業を実体験し、農家がどんなことで苦労しているのかが分かりました。



【写真】トマトの管理作業（神奈川区三枚町）

#### ■ 家族で学ぶ農体験講座を開催しました

小学生が家族と一緒に作物の植え付けから収穫までを体験する連続講座を環境活動支援センター（保土ケ谷区）内の畑で開催しました。農作業を通して、作物の生育が天候に左右されることや除草作業の大変さを体感していただき、農業の大切さを知っていただきました。



##### 参加者の声

- ・ラッカセイ堀りがおもしろかった。
- ・草取りは大変だけど畑がきれいになっていくのが気持ちよかった。
- ・こんなに手間がかかるとは思わなかった。これからは大切に食べます。






【写真】サツマイモ苗植付



【写真】ラッカセイの収穫

## 16 地産地消にふれる機会の拡大

- 地域でとれた農畜産物などを販売する直売所の整備等の支援を実施するとともに、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市の運営を支援します。
- 市内の植木農家や花き農家が生産した苗木や花苗を、市民への配布や、公共施設や農地の縁辺部等への植栽に活用します。
- 地産地消に関する情報誌・パンフレットの発行や、イベントの開催などによる情報発信・PR を実施します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	直売所等の支援	11 件	10 件	52 件
	青空市の運営支援	5 件	5 件	25 件
	緑化用植物の生産・配付	26,108 本 (171 件)	24,500 本	125,000 本
	情報発信・PR 活動	推進	推進	推進

### ■ 直売所、加工所の備品導入へ支援を行いました

直売所等を支援することによって、市民がより身近に新鮮な農畜産物を購入できる機会を提供することができました。また、青空市のイベント開催を支援し、市民が農家と交流できる機会を提供することができました。

直売所等の支援	
旭区	1 件
港北区	2 件
緑区	3 件
都筑区	1 件
戸塚区	3 件
泉区	1 件
合計	11 件



【写真】 備品導入を支援した直売所  
（「ハマッ子」直売所みなみ店/泉区）



【写真】 運営を支援している青空市  
（横浜中部地区市民朝市/保土ヶ谷区）

青空市の運営支援		
西区	1 件	みなとみらい農家朝市（高島中央公園）
保土ヶ谷区	1 件	横浜中部地区市民朝市（保土ヶ谷公園ミニ運動場）
緑区	2 件	長津田駅前直売所（横浜農協長津田支店前） 北八朔日曜朝市直売会（北八朔上自治会館前広場）
戸塚区	1 件	東戸塚市民朝市（東戸塚駅西口セントラルフィットネスクラブ東戸塚第1駐車場）
合計	5 件	



### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 — イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

##### ■ 市内産の苗木・花苗をPRしました

市内産の苗木・花苗のイベントでの市民配布や公共緑化や、区役所等での展示を通じて、市内産苗木や草花に親しめる機会を創出するとともに、多様な横浜の農をPRしました。



【写真】市内産苗木の配布  
(三ツ池公園/鶴見区)



【写真】花苗寄せ植え体験  
(クイーンズスクエア横浜/西区)



【写真】花苗の配布・展示  
(港北区役所/港北区)

##### ■ 情報発信・PR

市民が農を身近に感じるための取組として、「はまふうどナビ」等の情報誌やイベントによる情報発信・PRを行いました。11月の地産地消月間には、みなとみらい地区で「よこはま食と農の祭典 2015」を開催しました。生産者や企業等と連携し、ステージイベントや市内産農産物の直売、花の寄せ植え体験等を通じて、横浜の“農”の魅力に触れていただきました。

はまふうどナビ	
第37号	とれたてホクホク新じゃが特集
第38号	黄金色に輝く田園風景 横浜の米特集
第39号	はまふうどナベ特集 (市内産の野菜を用いた鍋)
第40号	畑とつながる横浜生まれのいいもの特集

よこはま食と農の祭典 2015		
	クイーンズスクエア	クイーンズパーク
ステージ	こども『エコ活。』大作戦！2015 結果発表会 はま菜ちゃんクイズ&美味しい食べ方レッスン 「濱のグルメコンテストラリー」表彰式 生産者が語る横浜農場の魅力 横浜市食育フォーラム講演会 出前講座「横浜の農を知ろう！」	市内生産者による直売 地産地消ビジネスコーナー 福島県産品の販売 中央卸売市場PRコーナー よこはま花の寄せ植え教室 トラクター展示
展示	企業・大学等と連携した取組の紹介 等	



【写真】はまふうどナビ



【写真】「よこはま食と農の祭典 2015」(クイーンズスクエア横浜/西区)





## 17 地産地消を広げる人材の育成

- 地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュを育成するとともに、活動を支援します。
- 地産地消に関するフォーラムを、市民・企業等と連携して開催します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	はまふうどコンシェルジュの活動支援	22 件	20 件	100 件
	フォーラムの開催	1 回	1 回	5 回

### ■ はまふうどコンシェルジュの活動支援を行いました

地産地消を広げる人材として、はまふうどコンシェルジュを育成するとともに、コンシェルジュが開催するマルシェや市民向けバスツアーなどの活動支援を行っています。

平成 27 年度は奨励事業 19 件・補助事業 3 件の計 22 件の活動支援を行いました。

はまふうどコンシェルジュの活動支援			
【奨励事業】19 件		【補助事業】3 件	
マルシェの開催	9 件	講演会の開催と印刷物の発行	1 件
農作業体験教室の開催（単日）	4 件	市民向けイベントの開催	1 件
農作業体験教室の開催（期間）	3 件	スープコンテストの開催	1 件
市民向けバスツアーの開催	3 件		

はまふうどコンシェルジュ育成講座	
第 1 回	横浜の「農」と地産地消（市の農業の概要と地産地消の取組についての講義）
第 2 回	横浜の「農」を味わう（中央卸売市場の見学と横浜野菜を使った調理実習等）
第 3 回	横浜の「農」を体験する（生産者と一緒に収穫や直売の体験）
第 4 回	横浜の「農」を巡る（市内の生産現場を見学するバスツアー）
第 5 回	これからの地産地消（今後の活動などを考えるワークショップを実施）



【写真】マルシェ



【写真】市民向けバスツアー



【写真】講演会

### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 — イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

##### ■ 「横浜・食と農のフォーラム 2016」を実施しました

「新たな地産地消ビジネスから考える、横浜農場の展開」をテーマに、先進的な事例の紹介やトークセッション、交流を通じて、農家・事業者・市民等の連携、協力を促進するとともに、市内産農畜産物の利用拡大を図りました。

開催日時：平成 28 年 2 月 9 日（火）15 時～17 時 30 分

場 所：横浜開港記念会館

来場者数：約 80 人

内容

##### 第 1 部

###### ①事例紹介

- ・都市型マルシェ“横浜北仲マルシェ”について

株式会社代官山ワークス代表取締役社長 丸山孝明氏

- ・新たな流通システム“SEND”の構築と展開について

プラネットテーブル株式会社代表取締役社長 菊池紳氏

- ・市と連携した農家と飲食店の交流について

NPO法人横浜ガストロノミ協議会理事長 今平茂氏

###### ②トークセッション

- ・事例紹介を行った 3 名と農家によるトークセッション

ファシリテーター 関内イノベーションイニシアティブ株式会社

代表取締役社長 治田友香氏

##### 第 2 部

- ・交流会



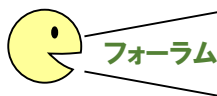
【写真】事例紹介



【写真】トークセッション



【写真】交流会



##### フォーラム参加者の声

- ・事例紹介が短くまとめられ、内容がよく分かりました。
- ・企業としての転換についてのヒントが多くありました。
- ・農家、料理人、またそれをつなぐ団体の立場の話を聞くことができ興味深かったです。

## 18 市民や企業等との連携

- 地産地消を広げる「農と企業等との連携」のマッチングを行います。
- 市内の中小企業等を対象とした、地産地消に関するビジネスを創出するための支援を行います。
- 学校給食での市内産農産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業等と連携した小学生の料理コンクールやパンフレットの配布などを実施します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	企業等との連携	8件	5件	50件
	ビジネス創出支援	5件	5件	25件
	学校給食での市内産農産物の利用促進	推進	推進	推進

### ■ 企業等と連携しました

企業と連携し、市内産農畜産物を使用した新商品の開発やマルシェの開催等を行い、市内産農畜産物のPRを図りました。

連 携 実 績 【連携件数：8件】	
東日本旅客鉄道(株) 横浜支社との連携による市内産トマトソースを使った新商品の企画・PR	6～8月
山崎製パン(株) 横浜第二工場との連携による横濱ビーフを使った新商品の企画・PR	9～10月
(株)そごう・西武 そごう横浜店との連携による市内産リンゴを使った新商品の企画	9～10月
みなとみらい地区ホテル等との連携による食と農の祭典の開催	11月
(株)ミツハシとの連携による市内産米の販売	9月
(株)代官山ワークス等との連携による「横浜北仲マルシェ」への市内農家の参加	1～3月
(株)横浜赤レンガとの連携によるイベント「ストロベリーフェスティバル」における市内産イチゴの販売	2月
(株)横浜赤レンガとの連携によるイベント「鍋小屋 2016」における市内産春菊・シイタケの使用	2月



#### 【写真】

- ① JR東日本による新商品 ② 山崎製パンによる新商品 ③ 北仲マルシェでの市内農家の販売ブース  
④ ストロベリーフェスティバルでの横浜産イチゴの販売



### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

##### ■ 地産地消のビジネス創出を支援しました

平成 26 年度の育成講座を受講し、補助対象に選定された 5 件の事業化を支援しました。

また、ビジネスプラン策定を支援する育成講座を開催し、平成 28 年度に事業化を支援する 5 件の事業を新たに選定しました。

##### <平成 27 年度の補助対象事業>

事業名	事業者名	内容
地産地消の店 まごころふあーむ	横山 宜美	こだわって栽培したトマト 「サンロード」を使用したオ リジナル商品の開発と販売
旅するコンフィチュ ールギフト商品開発	違 克美	市内産農産物等を使用した コンフィチュール（ジャム） のギフト商品開発
オフィスに届ける サラダランチ	有澤 厚子	市内産の野菜を使用したサ ラダランチを開発しオフィ スにお届け
横浜青みかん商品化 プロジェクト	奥井 奈都美	摘果された青みかんを使用 したドレッシングの開発と 販売
こどもやさい検定 プロジェクト	和賀 康子	親子で実施できるやさい検 定の企画と開発



##### <平成 28 年度の補助対象予定事業>

事業名	事業者名	内容
サッと炊けるフライパンごはん	東 みちよ	市内産の米を使用した、フライパンで調理できる ごはんの開発と販売
腹ぺこキッズプロジェクト	大滝 千香子	市内産食材を使用したスポーツをする子ども向けの 高栄養メニューの提案と市内産農産物を使用した ふりかけの開発
生産物直売所を鶴見に作るプ ロジェクト	阪田 守昭	新規就農者への販路提供とともに、直売所の少ない鶴 見区に新鮮野菜と農体験を提供する場づくり
地産地消・食育ワークショップ & ハンドブック	菅 千明	地産地消の食育ワークショップの企画・運営とそれに 連動したハンドブックの制作・販売
横浜野菜たっぷりカレー	中尾 真紀子	市内産の野菜を使用したレトルトカレーの開発と 販売

##### ■ 学校給食での市内産農産物の利用を促進しました

ＪＡ横浜及び市内の農家等と連携し、11 月の地産地消月間に給食で使用するキャベツとダイコンを市内の小学校・特別支援学校 329 校に届け、野菜サラダとして子どもたちに提供しました。

また、市内の小学生を対象に、市内産キャベツ、コマツナを使用した学校給食のメニューを募集する「はま菜ちゃん料理コンクール」を開催しました。



【写真】はま菜ちゃん料理コンクール  
本選




- ・自分が考えたメニューが給食になったらうれしいです。
- ・コンクールに参加して、ますます料理が好きになりました。

## ウ 市民が実感できる緑をつくる

## 19 民有地における緑化の助成

- 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行う市民・事業者に対し、緑化費用の一部を助成します。（一般助成）
- 緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区における公開性や視認性のある緑化に対しては、上限額の引き上げや、維持管理費用の一部などにも助成します。（拡充助成）

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	緑化の助成 (うち、拡充助成)	5件 (2件)	13 件	65 件

## ■ 屋上・地面緑化の費用の一部を助成しました

今年度は、個人宅のバルコニーや、集合住宅の屋上など、一般助成として3件、また拡充助成として公開性のある地面緑化2件、合計5件に対して助成を行いました。

## &lt;区別の実績&gt;

区名	町名	件数
鶴見	駒岡四丁目 東寺尾北台	2 (拡充)
神奈川	神奈川二丁目	1
西	みなとみらい四丁目	1
都筑	早渕二丁目	1



【写真】屋上緑化の事例  
(西区みなとみらい四丁目)



## 制度利用者の声


・助成金を活用したことで、身近な緑を増やすことができました。



【写真】地面緑化の事例  
(鶴見区駒岡四丁目)

## 20 建築物緑化保全契約の締結

- 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い保全することに対し、建築物所有者等の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	建築物緑化保全に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結	7 件 (約 1.4ha)	制度運用	制度運用

## ■ 協定を締結しました

今年度は、個人宅5件、集合住宅2件の計7件について保全契約を締結し、約1.4haの緑地が10年間保全されることになりました。



【写真】保全契約の事例（個人宅）  
（都筑区荏田南二丁目）



【写真】保全契約の事例（集合住宅）  
（戸塚区上倉田町）

## &lt;区別の実績&gt;

区名	町名	件数
南	中里三丁目	1
緑	三保町	1
都筑	荏田南二丁目	1
戸塚	品濃町（2件） 上倉田町	3
瀬谷	相沢一丁目	1



## 制度利用者の声

- ・生活空間の緑が、市の基準以上の緑化をしていると認定されうれしく思います。



## 21 名木古木の保存

- 地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。
- 指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。

◆平成 27 年度の実績		平成 27 年度 目標	＜参考＞ 5か年目標
	名木古木の保存		
	【新規指定】	17本	推進
	【維持管理の助成】	47本	推進

### ■ 名木古木保存事業

樹齢が概ね 100 年を超える樹木や、故事・来歴のある樹木を名木古木として指定・保存することで、都市の美観風致の維持に寄与しました。

また、名木古木に指定した樹木の診断、治療、せん定等の管理に助成金を交付し、樹木所有者の負担を軽減しました。

#### ＜区別の実績＞

区名	新規指定	維持管理に 対する助成
鶴見	—	4本
神奈川	1本	2本
西	—	1本
中	6本	10本
南	—	4本
港南	—	3本
保土ヶ谷	6本	1本
旭	—	6本
磯子	2本	3本
金沢	—	1本
緑	—	3本
青葉	—	1本
都筑	—	1本
戸塚	1本	1本
栄	—	1本
泉	—	1本
瀬谷	1本	4本
【計】	17本	47本

#### ＜維持管理の助成の内訳＞

診断	治療	管理
1本	5本	41本


※名木古木の指定本数（平成 28 年 3 月末時点）  
： 995 本



【写真】名木古木指定樹木の事例  
（シラカシ/保土ヶ谷区霞台）

## 22 人生記念樹の配布

- 人生の節目の記念に、希望した市民に対し苗木を無料配布します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	苗木の配布	7,865 本	8,000 本	40,000 本

### ■ 人生の節目を記念して、苗木をプレゼントしました

民有地緑化の普及・啓発を図るため、人生の節目の記念に、希望した苗木を無料で配布しました。

#### <申し込み対象となる記念>

出生、保育園・幼稚園入園、小学校入学、成人（20 歳の誕生日）、就職、結婚、金婚（50 年）、銀婚（25 年）、賀寿（還暦や古希など 7 種類）、新市民（市外からの転入）、住宅の新築・購入、住宅の増改築

#### <配布実績>

区名	配布本数	区名	配布本数	区名	配布本数
鶴見	395本	保土ヶ谷	369本	青葉	1,107本
神奈川	346本	旭	652本	都筑	481本
西	208本	磯子	396本	戸塚	731本
中	174本	金沢	597本	栄	289本
南	161本	港北	542本	泉	358本
港南	326本	緑	449本	瀬谷	284本
【合計】 7,865本					



**利用者の声** ・ こどもの誕生記念にいただきました。大事に育てていきます。





【写真】 苗木配布の様子（鶴見区役所）



【写真】 苗木配布の様子（青葉区役所）

## 23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

- 各区の主要な公共施設について、緑を充実させる取組を推進します。  
特に、視認性が高く多くの市民が実感できる緑の創出を重点的に実施します。
- 充実を図った公共施設の緑について、良好に維持管理します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	緑の創出	22 か所	16か所	58 か所
	創出した緑の維持管理	69 件	推進	推進

### ■ 市が所管する公共施設・公有地を緑化しました

南区や金沢区の庁舎など、多くの市民が利用する施設等を新たに緑化しました。

また、「横浜みどりアップ計画」により創出した緑を良好に維持するため、各施設において適切な維持管理が行われました。

#### <区別実績（創出）>

区名	施設名	施設数
神奈川	砂田川親水護岸他 2 か所	3
西	さくら通り（MM4号線）他 4 か所	5
中	山下公園通り	1
南	南区総合庁舎他 1 か所	2
港南	横浜藤沢線他 2 か所	3
旭	帷子川今宿南町河川事業用地 他 2 か所	3
金沢	金沢区総合庁舎	1
港北	菊名コミュニティハウス	1
青葉	奈良地区センター	1
都筑	横浜国際プール	1
瀬谷	相沢川水辺広場	1
合計		22



【写真】創出・事例（金沢区総合庁舎）



【写真】維持管理・事例  
（くすのき広場／中区）



## 24 公有地化によるシンボリックな緑の創出

- 緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区などを対象に、多くの市民の目に触れる場所で、緑豊かな公園を整備します。


◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5 年目標
	緑の創出	設計中 1 か所	1 か所	5 か所

## ■ 土地利用転換の機会を捉えた用地取得

1 か所のシンボリックな緑の創出予定地（西区伊勢町/旧県職員住宅：約 4,000m<sup>2</sup>）において、既存建物の解体設計を行いました。今後、建物を解体し、公園整備を進めていきます。

## 25 いきいきとした街路樹づくり

- 市民が目にする機会が多く、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成するため、せん定などの維持管理を通常の維持管理に上乗せして実施します。
- 都心臨海部の街路樹や区の代表的な街路樹については、低木の刈込や除草などの管理をより充実させます。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5 年目標
	街路樹の計画的なせん定	18 区で推進 (206 路線)	18 区で推進	18 区で推進

## ■ せん定などの維持管理を実施しました。

街路樹を良好に育成するため、管理樹形図を作成し、樹種や路線の特性を考慮しながら、目標とする樹形とせん定方法をあらかじめ定め、計画的なせん定を実施しました。また、都心臨海部や各区の代表的な街路樹の植樹樹については、低木刈込、草刈や除草などの頻度をあげて行うことにより、より充実した管理を行いました。



【写真】 高木せん定（左：中区日本大通り）（中央：港南区上永谷駅前）（右：都筑区茅ヶ崎中央）

## 26 地域緑のまちづくり

- 地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めます。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	地域緑化推進事業	26 地区 うち新規：4 地区	28 地区 うち新規 6 地区	46 地区 (新規 30 地区、 継続 16 地区)

### ■ 新たに 4 地区と協定を締結しました

「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の皆様から、緑化計画の提案を公募し、まちづくりや緑化の専門家による計画づくりの支援を行い、4 地区の団体と新たに協定を締結しました。

各地区では、緑化整備や緑の活動が行われ、地域の緑化推進に大きな成果を上げています。

#### <平成 27 年度取組地区一覧>

地区名	区名	協定締結 年度
生麦・新子安地区	鶴見 神奈川	H24
山手地区	中	H23
馬車道地区	中	H23
白根台第九地区	旭	H23
上白根国際地区	旭	H23
名瀬たかの台地区	戸塚	H23
上飯田地区	泉	H23
みなとみらい 21 中央地区	西	H24
錦が丘地区	港北	H24
末広地区	鶴見	H24
平楽地区	南	H24
みなとみらい 21 新港地区	中	H25
牛久保西地区	都筑	H25

地区名	区名	協定締結 年度
北寺尾地区	鶴見	H25
みなとみらい 21 横浜駅東口・中央地区	西	H26
湘南桂台地区	栄	H26
洋光台一丁目地区	磯子	H26
六ツ川・永田地区	南	H26
柿の木台地区	青葉	H26
竹山三丁目地区	緑	H26
金沢文庫 すずらん通り地区	金沢	H26
中原三丁目地区	磯子	H26
東本郷地区	緑	H27
霧の里地区	緑	H27
初黄・日ノ出町地区	中	H27
上星川地区	保土ケ谷	H27
合計		26 地区



### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 ― ウ 市民が実感できる緑をつくる

##### <平成 27 年度取組状況>

各地区では、地域の緑化計画に基づく緑化が進み、その地区ならではの緑のまちづくりが進むとともに、緑をテーマとした地域コミュニティ活動が盛んになりました。

また、工場地帯では、事業所内のビオトープ整備や緑化が進むことで、緑のネットワークが形成されるとともに、生き物調査などの環境活動も盛んになっています。さらに、商業・業務地区では、店先や沿道に花を飾ることで、地区の賑わいづくりが進みました。

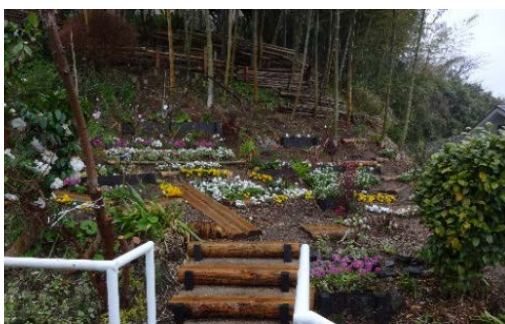
さらに今年度は、全地区を対象として、現地見学会、活動報告&交流会を実施しました。活動報告では、活動5年目を迎えている6地区から、これまでの取組を発表していただきました。



【写真】商業施設の緑化  
(みなとみらい21新港地区/中区)



【写真】沿道の緑化（北寺尾地区/鶴見区）



【写真】沿道の緑化  
(洋光台一丁目地区/磯子区)



【写真】講習会の様子  
(名瀬たかの台地区/戸塚区)



【写真】バス見学会の様子  
(生麦新子安、末広地区/神奈川・鶴見区)



【写真】活動報告&交流会の様子  
(全地区を対象とした交流の場)





#### 活動団体の声

- ・まちがキレイになったことはもちろん、住民同士が話をするきっかけにもなり、町内の風通しが以前にも増してよくなりました。



## 27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 子どもを育む空間である、保育園、幼稚園、小中学校において、多様な緑を創出します。
- 芝生等を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	緑の創出	32 か所	20 か所	100 か所
	芝生等の維持管理	推進	推進	推進

### ■ 緑の創出

校庭・園庭の芝生化に加え、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場所で、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑が増えました。

区名	市立小学校・ 保育園	民間保育所・ 幼稚園	区名	市立小学校・ 保育園	民間保育所・ 幼稚園
鶴見	—	2 か所	金沢	—	—
神奈川	2 か所	2 か所	港北	—	1 か所
西	—	—	緑	2 か所	—
中	1 か所	—	青葉	1 か所	1 か所
南	5 か所	—	都筑	—	—
港南	1 か所	—	戸塚	—	—
保土ヶ谷	3 か所	1 か所	栄	4 か所	—
旭	—	1 か所	泉	1 か所	—
磯子	1 か所	1 か所	瀬谷	2 か所	—
			【計】	23 か所	9 か所

#### <実施内容ごとの内訳>

校庭・園庭芝生化	ビオトープ	樹木による植栽	花壇など
11 か所	9 か所	10 か所	5 か所

※複数の緑化を実施した施設があるので、か所数の合計は一致しません。

### ■ 芝生等の維持管理

みどりアップ計画に基づき緑化した芝生や植栽の維持管理について、費用の一部を支援するのと合わせて、芝生の維持管理についての技術講習会と専門家による訪問指導を実施しました。また、ビオトープの整備や維持管理について、専門家による訪問指導を実施しました。

- ・費用の一部を支援した箇所数：100 か所以上
- ・芝生の維持管理について 研修会：3回 専門家による訪問指導：33回
- ・ビオトープの専門家による訪問指導：10回

### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 ― ウ 市民が実感できる緑をつくる



【写真】〔創出〕生き物が集まるビオトープができました（南区）



【写真】〔創出〕子どもがふれあう緑をつくりました（港北区）



【写真】〔創出〕園庭を芝生化しました（保土ケ谷区）



【写真】〔管理〕ビオトープアドバイザーによる指導（中区）



【写真】〔管理〕先生・保育士さん向け芝生管理の研修会（都筑区）



【写真】〔管理〕親子で芝生体験教室（日産スタジアム/港北区）





#### 利用者の声

- ・芝生の専門家に直接話を聞いたり質問できてよかったです。
- ・ビオトープに導入する動植物や、授業での活用方法がわかりました。



## 28 都心臨海部の緑花による賑わいづくり

- みなとみらい 21 地区から山下地区を中心とした都心臨海部で、緑花による魅力・賑わいづくりを進めます。
- いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街となるように、緑や花を良好に育てます。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度 目標	<参考> 5か年目標
	都心臨海部の緑花	4 か所	推進	推進
	緑花の維持管理	4 か所	推進	推進

### ■ 都心臨海部で緑花による賑わいづくりを進めました

みなとみらい 21 地区から山下地区を中心とした4か所で、緑のネットワーク形成を進めました。

実施か所
山下公園（中区）
港の見える丘公園（中区）
横浜公園（中区）
元町公園（西洋館含む）（中区）



【写真】山下公園沈床花壇の  
緑花（中区）



【写真】港の見える丘公園の  
緑花（中区）

### ■ 緑や花の維持管理を進めました

緑花の維持管理として、山下公園、港の見える丘公園、グランモール公園、新港中央広場において、花壇の良好な管理を進めました。

実施か所
山下公園（中区）
港の見える丘公園（中区）
新港中央広場（中区）
グランモール公園（西区）



【写真】グランモール公園の  
花壇の維持管理（西区）



【写真】新港中央広場の花壇の  
維持管理（中区）




### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 エ 効果的な広報の展開

#### エ 効果的な広報の展開

### 29 市民の理解を広げる広報の展開

- 市民の皆さまのご理解とご協力を得ながら横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）を推進するため、様々な媒体を活用しながら、計画や取組実績の広報・PRを進めます。計画を所管する環境創造局と「横浜みどり税」を所管する財政局が連携し、財源（税）と使途（事業）の両面から市民に周知します。
- 「みどりアップ月間」を設定し、集中的な広報を実施します。
- これまでに実施した広報手法について検証し、より効果的に広報を展開していくため、『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』を実施します。

◆平成 27 年度の実績			平成 27 年度目標	<参考> 5か年目標
	計画の目的、内容及び進捗状況を実感していただけるよう、多様な手段で広報活動を推進	推進	推進	推進

#### ■ イベントなどによる広報

##### <イベント出展による PR 活動>

- ・よこはま花と緑のスプリングフェア 2015（平成 27 年 4 月 10 日～4 月 12 日）
- ・環境行動フェスタ 2015（平成 27 年 6 月 27 日）
- ・環境科学研究所施設公開（平成 27 年 8 月 2 日）
- ・子どもアドベンチャー 2015（平成 27 年 8 月 18 日～8 月 19 日）
- ・みどりアップ月間 2015 期間中の各種イベント（平成 27 年 10 月～11 月に多数開催）
- ・野毛山動物園 第 11 回 動物たちの SOS 展（平成 28 年 3 月 13 日）
- ・金沢動物園春まつり（平成 28 年 3 月 19 日）

など



【写真】よこはま花と緑のスプリングフェア 2015



【写真】環境行動フェスタ 2015



【写真】子どもアドベンチャー 2015

### <展示によるPR活動>

- ・グランモール公園内クロスパティオの期間展示
- ・市庁舎市民広間での展示
- ・市内全区役所にPRパネルの掲出
- ・図書館での企画展示

### ■ 区役所、他局と連携した横浜みどり税の広報

- ・市連会・区連会での実績説明（環境創造局、各区税務課）
- ・イベントへの共同出展（環境創造局、財政局税務課）
- ・横浜みどり税PRチラシの配布（財政局税務課）
- ・個人市民税納税通知書、税額決定通知書に案内掲載（財政局税務課）
- ・法人市民税申告書送付時にチラシ同封（財政局税務課）
- ・各区分区祭りでのブース出展（各区税務課）

### ■ 各種媒体を活用した広報

#### <広報誌等への掲載>

- ・広報よこはま  
(市版はま情報：平成27年4月号、市版特集ページ：平成27年9月号)  
(区版：神奈川区版7月号、鶴見区版7月号、瀬谷区版7月号、  
港北区版8月号、戸塚区版9月号・3月号、旭区版10月号、  
緑区版8～3月号（連載コラム）)
- ・季刊誌「みどり」（平成27年春号、秋号）
- ・かんきょう横浜  
(平成27年7月号、9月号、平成28年3月号)
- ・よこはま農委だより（平成27年11月号）

#### <リーフレット・チラシ・報告書>

- ・平成26年度の実績概要リーフレット（140,000部作成）
- ・平成26年度事業報告書

#### <メディアを活用した広報>

- ・横断幕の掲出  
市庁舎、動物園、水再生センター、ウェルカムセンター等に掲出
- ・市営バス、公用車等へのPR用マグネットシートの貼付掲出（約4000枚配布）  
(平成24年11月～)
- ・FMヨコハマ「YOKOHAMA My Choice!」での特集
- ・ニッポン放送「ようこそ横浜」での地産地消の取組紹介
- ・横浜みどりアップ計画メールマガジンの発行  
(月2回、1日と15日に発行)
- ・ツイッターを活用した広報

#### <事業実施場所でのPR>

- ・事業実施場所での現地表示



【図】広報よこはま  
(市版：9月号)



【図】平成26年度の実績  
概要リーフレット



【写真】横断幕掲出の様子



【写真】市民が実感できる緑をつくる  
取組での現地表示

### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 エ 効果的な広報の展開

##### ■ マスコットキャラクターを活用した広報

市民の皆様へ、より横浜みどりアップに親しんでいただけるよう、マスコットキャラクター「横浜みどりアップ葉っぱー」を作成し、平成 27 年 6 月の環境行動フェスタ 2015 でお披露目しました。

その後も各イベントで活用し、より幅広い層に横浜みどりアップ計画を PR しました。また、みどりアップ月間・交通広告のポスター等を、マスコットキャラクターを活用したデザインに刷新し、より市民の目に留まる工夫をしました。

##### <横浜みどりアップ葉っぱーのプロフィール>

生まれたところ：横浜の森で目覚めた

何者？：森の妖精

年齢：妖精なのでわからない

誕生日：6 月 20 日

体重：88g 身長：64cm

(妖精なので、身長体重は自在に変えることができる。)

性格：普段は天真爛漫で明るい、水がなくなると元気がなくなる

好きなこと：日向ぼっこ(光合成)

チャームポイント：葉脈

特技：魔法の花で緑を増やす

仲間：色々な生き物と友達

(虫と友達なので、毛虫や青虫にも食べられない)



横浜みどりアップ葉っぱー



【写真】環境行動フェスタでの横浜みどりアップ葉っぱーのお披露目



【写真】子どもアドベンチャー 2015



【写真】キャラクターを活用した交通広告（市営地下鉄横浜駅ホームドア）



## ■みどりアップ月間

横浜みどりアップ計画と横浜みどり税に対する市民・法人へのPRを推進するとともに、緑の保全・創造に対する市民協働の輪を拡げながら、活動団体、土地所有者等を含めた市民共通理解の促進を図ることを目的として、みどりアップ月間を設置しています。

### <概要>

【期 間】 毎年 10 月～11 月

### 【主な内容】

- ・集中的な広報によるPRの強化  
鉄道・バスなどの交通広告、苗木配布、クラフト教室、  
ポスター掲示、各種パンフレット・チラシの発行など
- ・みどりアップ月間のコアイベントの実施  
農と緑のふれあい祭り
- ・イベント相互間の連携による相乗効果の発揮

よこはま森の楽校、よこはま食と農の祭典 2015、みなとみらい農家朝市収穫祭等



【図】みどりアップ月間チラシ

### <主なイベント実績>

日付	イベント名	内容	開催場所
10月25日(日)	ドングリ博士と行く！ 京浜の森の宝探し	京浜地区にて植樹した緑地の見学、生きもの調査などを実施	京浜地区(鶴見区・神奈川区)
10月25日(日)	みなとみらい農家朝市収穫祭	市内産の野菜・果樹・加工品などの販売	西区 高島中央公園
11月3日(火・祝)	農と緑のふれあい祭り	野菜収穫体験、自然素材の工作教室など、横浜の緑や農業を身近に感じられる様々な催し物を開催 (参加者：約 13,000 人)	保土ヶ谷区 児童遊園地、 環境活動支援センター
11月14日(土)	よこはま食と農の祭典 2015	「地産地消」の推進を目的に、横浜の農業に関するクイズ等のステージイベントや地産地消に取り組む企業等によるPR展示、農家による市内産野菜などの販売を実施 (参加者：約4,000 人)	西区 みなとみらいクイーンズ サークル、クイーンズパーク
11月22日(日)	よこはま森の楽校 ～元気もりもり！横浜の森～	森の魅力や役割を伝えるみどりに親しむワークショップを市内の大学生などが実施 (参加者：約 3,000 人)	西区 みなとみらいクイーンズ サークル、クイーンズパーク
11月28日(土)	みどりアップ健康ウォーキング 「朝日を感じて旭ウォーキング」	植物など自然に関するレクチャーを受け、市内の豊かな自然を楽しみながらのウォーキング	旭区 市沢ふれあいの樹林、鶴 ヶ峰ふれあいの樹林等



【写真】よこはま森の楽校



【写真】農と緑のふれあい祭り



【写真】みどりアップ健康ウォーキング

### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 エ 効果的な広報の展開

##### ■ 交通広告を活用した広報

特に若年層を中心により幅広い層に取組を PR するため、みどりアップ月間に合わせ 9 月～11 月にかけて集中的に交通広告を活用した広報を実施しました。

##### < 掲出実績 >

###### 市営地下鉄

- ・ブルーラインはまりん号貸切車内ポスター（平成 27 年 10 月 13 日～10 月 26 日）
- ・ブルーライン横浜駅・戸塚駅ホームドア（平成 27 年 10 月 28 日～11 月 10 日）
- ・ブルーライン LED 広告（平成 27 年 10 月 1 日～11 月 30 日）
- ・グリーンライングリーンビジョン映像放映（平成 27 年 10 月 2 日～11 月 26 日）

###### 市営バス

- ・パートラッピングバス（平成 27 年 9 月 1 日～11 月 30 日）
- ・バス車内ポスター（額面広告）（平成 27 年 9 月 29 日～12 月 1 日）

###### 京浜急行

- ・窓上ポスター（平成 27 年 11 月 1 日～11 月 30 日）

###### 相模鉄道

- ・中吊りポスター（平成 27 年 9 月 28 日～10 月 28 日）

###### みなとみらい線

- ・駅貼りポスター（平成 27 年 11 月）

###### シーサイドライン

- ・駅貼りポスター（平成 27 年 10 月、11 月）



【写真】パートラッピングバス



【写真】はまりん号貸切車内ポスター



【写真】グリーンビジョン

##### ■ プロモーションビデオの制作

取組の更なる周知を目的にプロモーションビデオを作成し、各区役所・市立学校等へ配布しました。

また、YouTube の横浜市公式アカウント

「@CityOfYokohama」でも動画を公開しました。



【図】プロモーションビデオ

### ■ 『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』の実施

実施した広報手法について検証し、より効果的に広報を展開していくため、『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』を実施しました。

#### (1) 調査の概要

**目的：** 「横浜みどりアップ計画」及び「横浜みどり税」を市民の皆様にご存知いただくための広報の方法や、市民の皆様の緑の取組への関心を検証し、今後の取組及びその広報を検討するために実施。

**調査の対象：** 市民 5,000 人（住民基本台帳から無作為に抽出した満 20 歳以上の市民）

**実施期間：** 発 送 日：平成 27 年 11 月 27 日（金）

回答期限：平成 27 年 12 月 18 日（金）

**回収数等：** 1,541 票（回収率 30.8%）

**設問：** 「横浜みどりアップ計画を知っているか」「横浜みどり税を知っているか」  
「何で知ったか」「市の情報を得る手段」など 10 問

#### (2) 主な調査結果

##### ①「横浜みどりアップ計画を知っているか」

「取組内容を知っている」6.0%、「計画があることを知っている」13.8%、「名称を見たことや聞いたことがある」22.7%、合わせて 42.5%。

##### ②「横浜みどり税を知っているか」

「税の目的や税額を知っている」10.4%、「税があることを知っている」27.3%、「名称を見たことや聞いたことがある」9.3%、合わせて 47.0%。

##### ③「何で知ったか」

- ・「広報よこはま等の広報紙」が 50.2%。
- ・「市からの税金の通知等」が 38.4%。

##### ④「市の情報を得る手段」

- ・「広報よこはま等の広報紙」が 72.2%。
- ・「自治会・町内会の回覧」が 41.5%。
- ・30 代以降は「広報よこはま等の広報紙」、「自治会・町内会の回覧」で市の情報を得る割合が高い
- ・20 代は「電車及び駅の広告」で市の情報を得る傾向が強い。

#### (3) 今後の対応

調査結果を踏まえ、引き続き、「広報よこはま等の広報紙」・「自治会・町内会の回覧」等での情報提供を進めること、マスコットキャラクターやプロモーションビデオ、交通広告を活用することなど、より積極的に取り組んでいきます。

本調査については、28 年度以降も毎年度実施します。



### 3 事業・取組の実績

#### (2) 事業・取組の実績 ― エ 効果的な広報の展開

